

大志

加賀市議会議員 辰川志郎 議会だより



令和元年9月30日発行
第22号

令和元年9月議会

加賀市は今本会議において、一般会計2億5900万円（累計334億9510万円）の補正予算を可決した。その内、情報通信技術などを駆使した街（スマートシティ）の構想を目指す費用に660万円が計上された。先端技術で情報通信技術（ICT）を取り入れることにより、市民生活の利便性を向上させ、街全体が省資源化する「スマートシティ」の実現を目指す。具体的には、遠隔操作で分身ロボット「アバター」を

スマートシティ構想策定

使い、市役所内での窓口相談や展覧施設での展示案内などを検討し、実証実験を行い将来的には市民サービス全体における実用化をはかる。

その他、豚コレラに感染した野生イノシシが市内で捕獲されたときに備えてその焼却処分費、山代温泉萬松園を緑地化し、公園化として整備する費用、橋立郵便局窓口業委託事業、インバウンド推進事業、森林経営管理制度に係る意向調査事業、ICT活用学習支援推進事業など議案29件が可決された。

加賀地域連携会議について

〈質問〉

(1) 野々市市、白山市、能美市、小松市、加賀市、川北町の南加賀五市一町でつくる「加賀地域連携会議」の目的は何か。

(2) 小松市と能美市で設立した「クタクタニズム実行委員会」の情報を事前に本市は得ていたのか。

(3) 今後、九谷焼や山中塗などの地場産業の振興のため、どのような計画があるのか。

(4) 「東京2023加賀」のPR動画について

〔答弁者〕 経済環境部長

(1) 設立の目的について

南加賀地域の五市一町でつくる通称「オール加賀」については、地域資源の強みを活かし、相乗効果と相互補完による地域づくりに連携して取り組み、北陸新幹線の金沢開業、

及び敦賀延伸効果を関係市町全体の交流拡大に繋げ、地域の発展を目指すために、平成二十六年五月に設立した。

(2) 「クタニズムについて」

小松市と能美市が連携した九谷焼振興事業は、六月の新聞報道で、初めて情報を知った。両市は二〇二三年の新幹線敦賀延伸に向けて、観光宣伝等の事業の一環として、今年度は九谷焼の展示会などを実施する。

(3) 九谷焼、山中塗などの地場産業振興について

当市においても、九谷焼の振興については、これまでも阪急うめだ本店での「九谷焼展」や東京駅横の丸善丸の内本店において、加賀九谷焼陶磁器協同組合が中心となって開催する「現代加賀九谷焼作家展」に共催し、全面的な支援を行う。

一方、山中漆器についても、山中温泉観光協会、山中漆器連合協同組合などが中心となって開催する体験型イベント「アラウンド」に支援を行う。

また、地域の旅館、飲食店とも連携した温泉、食、文化が地域と一体となることで相乗効果も見込めることから、市としても全面的に支援をする。

(4) 「東京2023加賀」のPR動画について

これまでの第一弾、第二弾は話題性も高く、現在、インターネットでの視聴率は、合計45万件を超え、自治体が制作するPR動画では異例の話題作となっている。

第三弾については現在検討中で、これまで同様に、インパクトの強い演出を盛り込み、話題性の高いものになりたいと考えている。



【私見】

南加賀の五市一町でつくる通称「オール加賀会議」は地域資源を活かし、相互の相乗効果を目指すものであるが、その資源の一つである「九谷焼」は発祥の地である加賀市が蚊帳の外に外され、協同の意味が薄れている。

本市は「クタニズム実行委員会」の設立情報が報道により、初めて知ったというから呆れてしまう。

今年度、両市は展示会等を行い、九谷焼の振興と観光誘客の増加を目指す。

一方、加賀市は東京丸善や阪急うめだ本店にて展示会を開催するために税金を投入して支援を行う。

このような事態になった原因は、加賀市が新幹線の停車駅誘致のために制作したPR動画が原因にあると考える。内容があまりにも小松市を刺激し、不愉快な思いを与えてしまった。その結果、小松市は能美市と連携し、停車駅を小松に誘致するための一環として、この度の「クタニズム実行委員会」の設立となったように伺える。46万件の配信はそれだけの人に不快感を与えたことになる。今後については、加賀市はこの事態を大いに反省し、本来の「オール加賀会議」設立の目的を達成するため、南加賀の経済発展の相乗効果を目指すために、リーダーシップを発揮するべきではないだろうか。

大聖寺地区の歴史遺産と 観光振興について

〈質問〉

大聖寺地区には藩政時代からの多くの歴史遺産があるが、それらを観光客や市民に展覧する場所がない。

また、錦城山は大聖寺を一望できる景勝地であり、観光スポットとして公園化を図る必要があるのではないか。



錦城山からの展望

〔答弁者〕市長

大聖寺地区には歴史的遺産も多く、こうした文化遺産を活用し、文化振興や観光振興につなげることは重要であると考えます。

大聖寺地区には展観施設として「石川県九谷焼美術館」と「深田久弥山の文化館」があり、新たな施設を作る計画はないが、市の指定文化財である「旧新家住宅」については、今年度中に保存修理や庭園整備を行う。

また、大聖寺は城下町の町割りや町名がそのまま残り、歴史的建造物とお茶や能楽などの伝統文化が融合し、城下町の風情がそのまま醸し出されている。

地区内に残る「町屋」など伝統的建造物は、歴史的景観を形成する要素であり、その町屋を再生し、活用するための助成制度に取り組んで、まちなかの賑わい創出を実現する。

また、錦城山については、市の指

定文化財で、戦国期からの城の高い学術的価値を持つ重要な史跡であり、国の補助制度を活用した事業を実施すべく、「加賀市歴史的風致維持向上計画」の策定に向け、国との協議を積極的に進めているところであります。これにより、大聖寺地区の歴史文化遺産の保存活用並びに観光振興を図ってまいります。

加賀市消防団について

〈質問〉

現在、全国的に消防団員のなりて不足が報じられているが、加賀市においては定数に対してどれだけの団員が確保されているのか。

また、資格や技能をもつOB職員は即戦力があることから、「機能別消防団員」として採用することが効果的であると考えますが、そのような計画はあるのか。

〔答弁者〕消防長

近年、社会環境や就業形態の変化により、全国的に団員確保が難しい状況にある。

本市においても、地道な勧誘努力により現在、条例定数400人に対し、実員は384人で充足率は93.6%で全国平均より約2%上回り、継続維持されている。

次に、機能別消防団員については、一般的な消防団員とは異なり、限定した内容や役割を持ち、消防団活動には参加しやすくなる一方で、活動が限定されるため多様な災害対応が難しい場合もある。

経験豊富な退職消防職員による機能別消防分団の導入は、特定災害に対応する有効な手段の一つであり、団員のなり手不足の解消の方策ではあるが、本市の団員充足率は高く、消防団活動に対応できる基本団員の充足確保を最優先と捉え、今後も導入を視野に入れつつ、調査、研究する。

【私見】

私たちの身近に生活の安全・安心をまもってくれる消防団員のなり手不足は、全国的にも深刻であるが、加賀市においては全国平均を上回っているとのことでした。

「機能別消防分団」については、今のところ消防団員の充足で必要ならしいが、地区の団員等の指導などで協力出来ればありがたい。

今年は女子消防団員が石川県代表として全国大会に出場されることで、高い技術の向上が伺われる。

第71回石川県民体育大会について

〈質問〉

本年度の成績は男子総合5位、女子総合9位という成績を、どこからえるのか。

また、平成28年に策定された「加賀市スポーツ推進計画」に基づき、今後どのような施策を実施するのか。

【答弁者】 教育長

今年度の成績については、市体育協会と連携し、上位入賞を目指していたが、成績は低迷した。

今後については「加賀市スポーツ推進計画」に掲げる四つの基本施策である「生涯スポーツの振興」「スポーツ施設の活用と整備」「スポーツイベントの推進」「スポーツ団体の育成支援及び競技スポーツの振興」に基づき、施策を展開する。

【私見】

石川県民体育大会は市町対抗のため、人口の数で左右されるのは当然である。

身近なスポーツの成績は市民の意識向上につながり、経済発展にもつながる。

加賀市の競技力の低下の要因は加賀市スポーツ推進計画にある「スポーツ施設の活用と整備」「スポーツ団体の育成支援及び競技スポーツの振興」にある。

加賀市より人口の少ない七尾市はサッカー、テニスなどの施設が整備され、各種大会の実施や合宿等も行われ、市内小、中、高校生の競技力向上につながる。また、近くの和倉温泉にも宿泊者の増加など経済的効果も高い。

施設の充実とスポーツ環境の整備は市民の体力向上と健康増進の他、大きな経済効果につながる。



石川県民体育大会の章典

編集後記

九谷焼産地である能美市と小松市の両市共同で開催する総合芸術祭「クタニズム」が両市の二会場で行われた。この行事の開催については、九谷焼発祥の地である当市の執行部は報道ではじめて知った。というのでは寂しい感じがする。

このような加賀市抜きイベントの開催は加賀市が新幹線「かがやき」の停車をめぐる動画制作にあると考える。市ではこれまで46万回の配信があった。ところがそれだけ多くの方に不愉快な思いをさせたことになる。

この会報へのご意見をお聞かせ下さい。

<http://www.tatsukawa.jpn.com>
E-mail: daishimore21@yahoo.co.jp